

ドーバー市訪問団の  
報告会を開催します

日時／5月11日(日) 13時30分開場  
13時45分開始

場所／総合体育館 2階会議室

外国の文化に触れ、国際感覚・国際理解を養い、友好都市との交流を深めることを目的に、友好都市ドーバー市へ派遣された中学生の報告会を行います。

現地での交流の様子や、派遣をとおして感じたことなど、貴重な体験談を聞いてみませんか。

※どなたでも参加いただけます。

問／さわやか市政推進課  
(☎内線 642～644)



▲宮城教育大学の鈴木渉准教授（後列右端）と派遣学生の皆さんと一緒に、超高層ビル「エンパイアステートビル」に昇りました  
3月13日



▲デラウェア州知事(右から7人目)とCCS校長(右から2人目)とドーバー市長(右端)と一緒に記念撮影 ※CCS(キャンパス・コミュニティー・スクール)  
3月19日



3月15日



3月18日

▲(上段) ワシントンDC 観光  
▲(下段) 文化交流



▲ホストファミリーとの別れとなる「さよならパーティー」で涙が止まらない団員たち  
3月21日



▲日本の遊びなどを紹介する体験交流では「くるまの(ん)とてんかん」で大盛り上がり  
3月14日



▲ドーバー空軍基地  
3月20日

# 第15回ドーバー市訪問団 訪問レポート

震災から3年。第15回となるドーバー市訪問団(中学生10人、引率2人)が3月13日～24日の日程で、友好都市アメリカ合衆国デラウェア州ドーバー市などを訪れました。

団員はホームステイや文化交流を通じて、今まで積み重ねられてきた岩沼市とドーバー市の絆や歴史を体感し、友好を深めてきました。

岩沼市とドーバー市の  
歴史をつなぐ

現地では、学校を訪問し、文化交流の中で岩沼市の名所や祭り、岩沼市とドーバー市の友好、日本の文化(漫画)や日本の中学校生活を紹介。震災については、震災時の状況や津波の恐怖、アメリカからの支援へのお礼、千年希望の丘などを紹介しました。発表は大変興味深く聞いてもらえ団員の英語での発表も日々上達しました。

また、体験交流として習字や箸つかみ、折り紙など、日本の遊びを一緒に楽しみました。今年は、宮城らしい遊びとして、「だるまさんが転んだ」の宮城版である「くるまの(ん)とてんかん」を取り入れ、人気がありました。ホームステイではアメリカの各家庭の生活や文化に団員が直接触れることができ、心に残る貴重な体験となりました。

今まで岩沼市とドーバー市との交流を積み重ねてきたこともあり、デラウェア州知事、ドーバー市長表敬訪問では、温かいお言葉をいただき、ドーバー空軍基地でも、普段入れないさまざまな場所を案内していただきました。

ドーバー市ではどこへ行っても日本人を温かく迎えてくれて友好的な絆を実感することができました。さよならパーティーで歌った「小さな世界」のとおり、「子どもの世界(子どもたちが築くコミュニケーション)」は「平和な世界」でした。今回も小さな外交官たちは大きな役目を果たしました。

## 今後の国際化を視野に

「百聞は一見にしかず」。インターネットで何でも分かる時代とはなりませんが、中学生の時に、アメリカの文化や生活を体感できたことは、今後、日本国内にとらわれず、世界に目を向け、広い視野で物事を考える基礎を育んだものと思います。

今年度はドーバー市から数年ぶりに訪問団を受け入れる計画があります。岩沼市での再会を誓い、ドーバー市からの訪問を待ちわびる団員もいます。

今回の訪問が団員を数日で成長させただけでなく、一生の宝物となったことは確かです。

(引率 渡辺里美)



▲本場のハンバーガーはやはり一味違う！  
3月22日

訪問団員 (敬称略)	小泉 武一(市教育委員会)
引率	渡辺 里美(市職員)
リーダー	鷹鷲 未香子(岩沼西中 2年)
サブリーダー	大友 崇敬(岩沼中 2年)
岡村 奏平(岩沼中 2年)	清野 まりん(岩沼西中 2年)
伊藤 杏香(岩沼北中 2年)	長田 実優(岩沼西中 2年)
小池 杏奈(岩沼西中 1年)	佐々木 大和(岩沼中 2年)
鈴木 夏美(岩沼中 2年)	瀧澤 水希乃(岩沼中 2年)
※所属学年は26年3月のも。	



▲共に素晴らしい時間を過ごした団員たち  
3月23日

宮城教育大学との連携協力の 覚書に基づく派遣学生など (敬称略)	宮城教育大学 市瀬 智紀(教授)
	鈴木 渉(准教授)
	久保田 雄大(教育学部3年)
	橋本 美咲(教育学部3年)
	阿部 夏生(教育学部2年)
	八木沼 賢悟(教育学部2年)
※所属・学年は26年3月のも。	
※事前研修から現地ドーバー市でも団員たちを支援していただきました。	